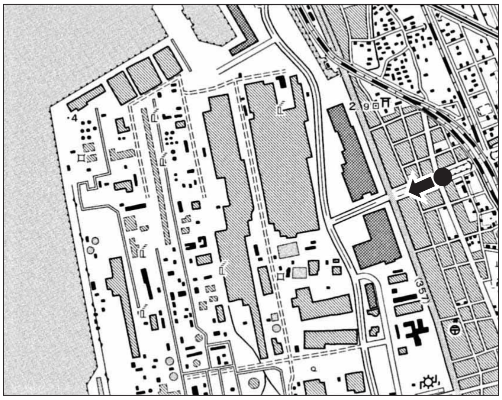
2018年度　東京都公立高校入試問題

50分
100点

1　次の各問に答えよ。

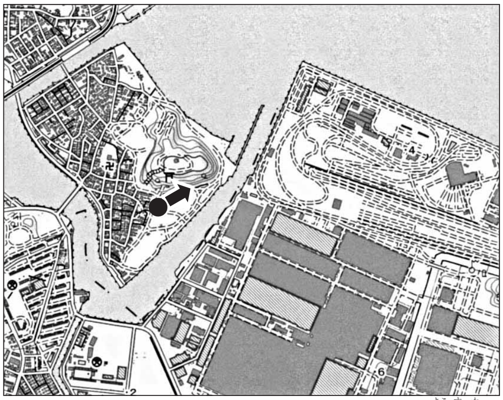
〔問１〕　次の写真は，あとのア～エのいずれかの「国土地理院発行２万５千分の１の地形図」の一部に●で示した地点から矢印（➡）の方向を撮影したものである。この写真を撮影した●で示した地点が含まれる地形図に当てはまるのは，あとのア～エのうちではどれか。

ア



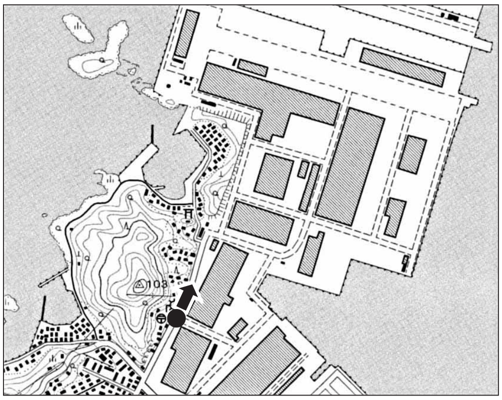
（国土地理院発行２万５千分の１の地形図「千葉西部」）

イ



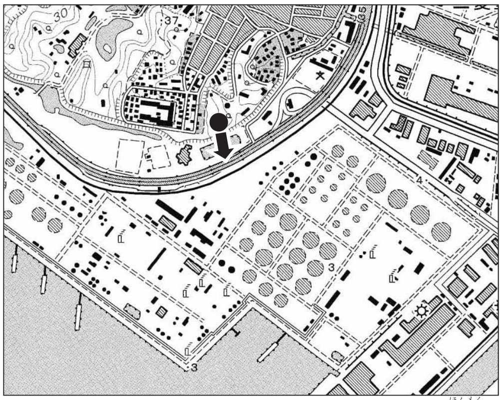
（国土地理院発行２万５千分の１の地形図「横須賀（よこすか）」）

ウ



（国土地理院発行２万５千分の１の地形図「長崎西南部」）

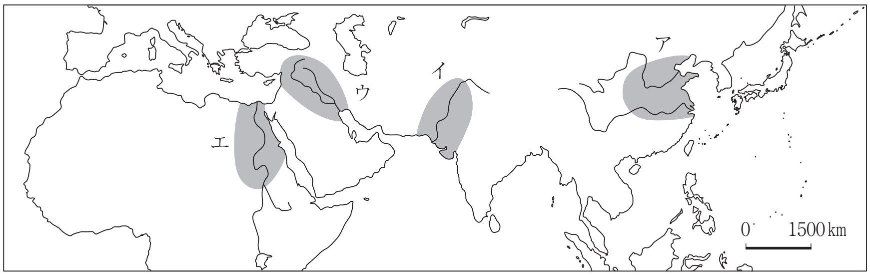
エ



（国土地理院発行２万５千分の１の地形図「本牧（ほんもく）」）

（編集部注：原図を縮小しています。）

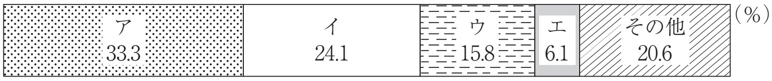
〔問2〕 次のⅠの略地図中に ▬ で示したア～エは，古代文明が興（おこ）った地域を示したものである。Ⅱの文章で述べている古代文明が興った地域に当てはまるのは，略地図中のア～エのうちのどれか。

Ⅰ


Ⅱ

> 下水道施設や公衆浴場などの公共施設が整備された都市が建設された。モヘンジョ・ダロやハラッパ（ハラッパー）などの遺跡からは，文字が刻まれた印章が出土しているが，文字は未解読であり，解明されていないことが多い文明である。

〔問3〕 次のⅠのグラフは，我が国の2017年度の一般会計当初予算における歳出総額及び歳出項目別の割合を示したものである。Ⅰのグラフ中のア～エは，公共事業関係費，国債費，社会保障関係費，地方交付税交付金のいずれかに当てはまる。Ⅱの文で述べている歳出項目に当てはまるのは，Ⅰのグラフ中のア～エのうちのどれか。

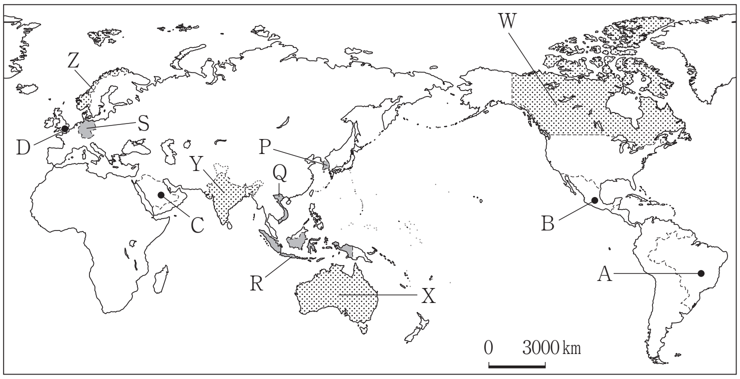
Ⅰ 歳出総額 97兆 4547億円


（注） 四捨五入をしているため，歳出項目別の割合を合計したものは，100%にならない。
（財務省の資料より作成）

Ⅱ

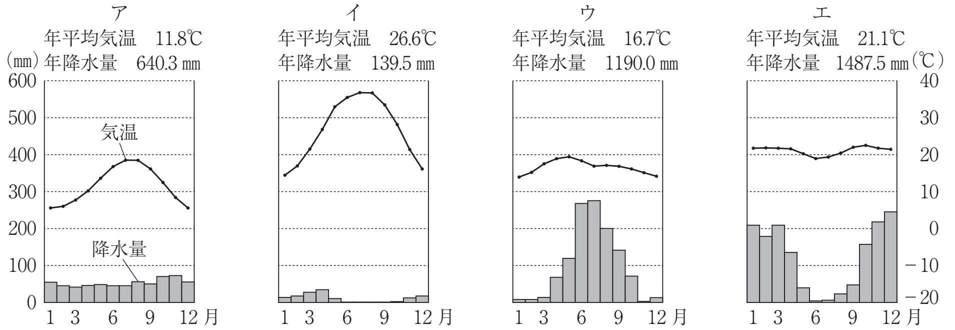
> 国の借金の返済や利子の支払いなどの支出であり，2017年度の一般会計当初予算における歳出額は約23兆円である。

2 次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕　次のⅠのア～エのグラフは，略地図中にA～Dで示したいずれかの産油国の首都の，年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。Ⅱの文は，A～Dのいずれかの首都が属する国の油田の様子についてまとめたものである。Ⅱの文で述べている国の首都のグラフに当てはまるのは，Ⅰのア～エのうちのどれか，また，その首都に当てはまるのは，略地図中のA～Dのうちのどれか。

Ⅰ



（「理科年表」平成29年より作成）

Ⅱ

暖流と偏西風の影響により，高緯度の割には気温が高く，冬季でも凍らない海域に広がる大陸棚にこの国の油田は分布し，採掘された原油は，パイプラインを利用して輸送されている。

〔問２〕　次の表のア～エは，略地図中に　　で示したP～Sのいずれかの国の，2014年における産業別の就業人口の割合，石炭の産出量，石炭の輸入量，石炭の輸出量，粗鋼の生産量を示したものである。略地図中のRに当てはまるのは，次の表のア～エのうちのどれか。

	産業別の就業人口の割合（%）			石炭の産出量（千ｔ）	石炭の輸入量（千ｔ）	石炭の輸出量（千ｔ）	粗鋼の生産量（千ｔ）
	第１次	第２次	第３次				
ア	1.4	28.1	70.5	8337	53740	208	42943
イ	46.7	21.3	31.9	41086	42	7265	5847
ウ	5.7	24.6	69.7	1748	126167	—	71543
エ	34.3	21.0	44.8	435743	2273	410083	4428

（注）　四捨五入をしているため，産業別の就業人口の割合を合計したものは，100％にならない場合がある。

（注）　—は，輸出量が不明であることを示す。

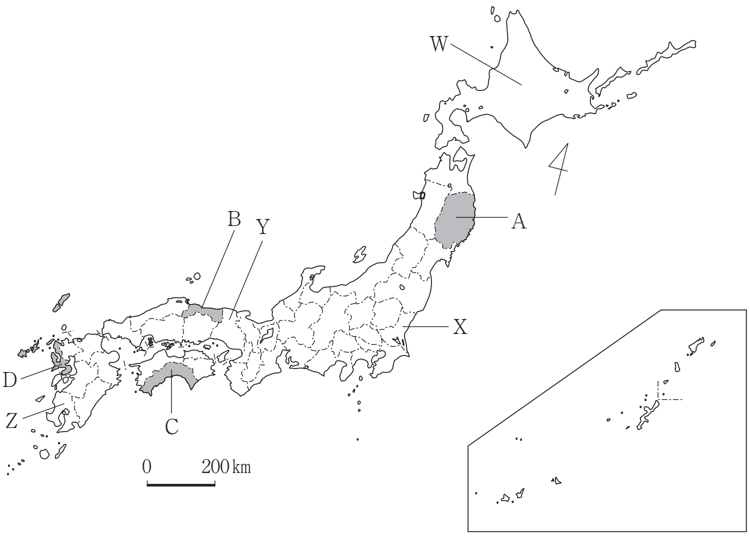
（「データブック　オブ・ザ・ワールド」2016年版などより作成）

〔問３〕 次の表のア～エは，略地図中に▒▒で示したW～Zのいずれかの国の，2014年におけるこの国からの日本の輸入総額とアルミニウムの輸入額，2014年におけるアルミニウムの生産量，国土とアルミニウム生産の様子についてまとめたものである。略地図中のW～Zのそれぞれに当てはまるのは，次の表のア～エのうちではどれか。

	日本の輸入総額（億円）	アルミニウムの輸入額（億円）	アルミニウムの生産量（千ｔ）	国土とアルミニウム生産の様子
ア	50897	1043	1704	○複数の標準時が定められ，東部に位置する標高2000mを超える山を含む山脈の周辺では石炭が産出される他，中央部から西部にかけて様々な鉱産資源が産出され，北西部には鉄鉱石の鉱山が集中している。 ○主に石炭を用いた火力発電を利用し，国産の原料等からアルミニウムを生産している。
イ	7391	14	1939	○北部には標高8000mを超える山を含む山脈が位置し，海に突き出た半島部には高原が広がり，北東部で産出される石炭や鉄鉱石など，様々な鉱産資源が産出される。 ○主に石炭を用いた火力発電を利用し，国産の原料等からアルミニウムを生産している。
ウ	11900	63	2858	○複数の標準時が定められ，西部には標高3000mを超える山を含む山脈が位置し，中央部の氷河に削られた平原では，ニッケルや鉛など，様々な鉱産資源が産出される。 ○主に湖の水を用いた水力発電を利用し，輸入した原料等からアルミニウムを生産している。
エ	2548	10	1250	○氷河に削られてできた多数の湾が複雑に入り組んだ海岸線を形成し，隣国との間に位置している標高2000mを超える山を含む山脈の周辺では，チタンや鉄鉱石などの鉱産資源が産出される。 ○主に湖の水を用いた水力発電を利用し，輸入した原料等からアルミニウムを生産している。

（財務省「貿易統計」などより作成）

3　次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕　次の表のア～エの文章は，略地図中に▬で示した，A～Dのいずれかの県の自然環境と農業の様子についてまとめたものである。A～Dの県のそれぞれに当てはまるのは，次の表のア～エのうちではどれか。

	自然環境と農業の様子
ア	○海岸部には複雑に入り組んだ海岸線が見られ，西部には南北方向に山脈が走り，夏季には寒流の影響により冷たく湿った北東の風が吹き込み，冷害となることがある。 ○内陸部の盆地などでは，夏季の冷涼な気候を利用して，大消費地向けに野菜などの栽培が行われている。
イ	○多数の半島や島々が見られ，南東部には火山が位置し，海洋から吹き込む風の影響で年間を通して温暖である。 ○半島部などでは，温暖な気候を利用して，ばれいしょの二期作や果樹などの栽培が行われている。
ウ	○北部には東西方向に山地が見られ，暖流の影響で年間を通して温暖となる南部には，台風の通過などにより多量の降水量がもたらされることがある。 ○山地の南側の地域などでは，日当たりがよく，昼夜の寒暖差が大きいことを利用して，県の特産品となっている柑橘類（かんきつるい）などの栽培が行われている。
エ	○西部には火山が位置し，北部には平野が広がり，冬季には北西から吹く風の影響で積雪が見られる。 ○砂丘が広がる地域では，スプリンクラーなどの灌漑（かんがい）設備を利用して，果樹などの栽培が行われている。

〔問２〕　次の表のア～エは，略地図中にW～Zで示したいずれかの道県の2015年における産業別の就業人口の割合，耕地面積に占める水田及び畑の割合，農業産出額，農業産出額の上位３位の品目と農業産出額に占める割合を示したものである。略地図中のZに当てはまるのは，次の表のア～エのうちのどれか。

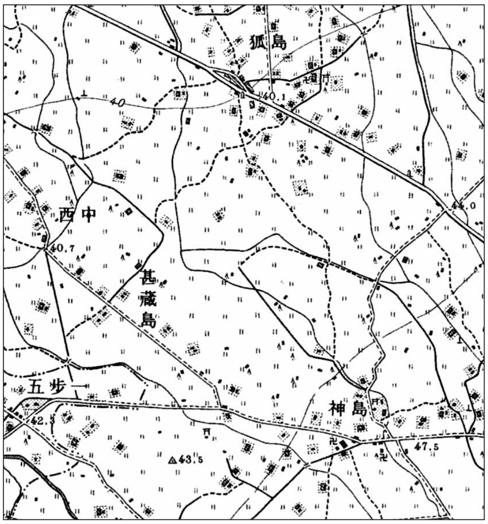
	産業別の就業人口の割合（％）			耕地面積に占める割合（％）		農業産出額（億円）	農業産出額の上位３位の品目と農業産出額に占める割合（％）（左から１位，２位，３位）
	第１次	第２次	第３次	水田	畑		
ア	7.4	17.9	74.7	19.4	80.6	11852	生乳(29.9)，米(9.7)，肉用牛(8.2)
イ	2.1	26.0	71.9	91.3	8.7	1608	米(26.9)，鶏卵(12.6)，肉用牛(10.9)
ウ	9.5	19.4	71.1	32.0	68.0	4435	肉用牛(23.9)，豚(16.6)，ブロイラー(13.6)
エ	5.9	29.8	64.4	57.9	42.1	4549	米(15.3)，鶏卵(10.7)，豚(8.7)

（注）　四捨五入をしているため，産業別の就業人口の割合を合計したものは，100％にならない場合がある。

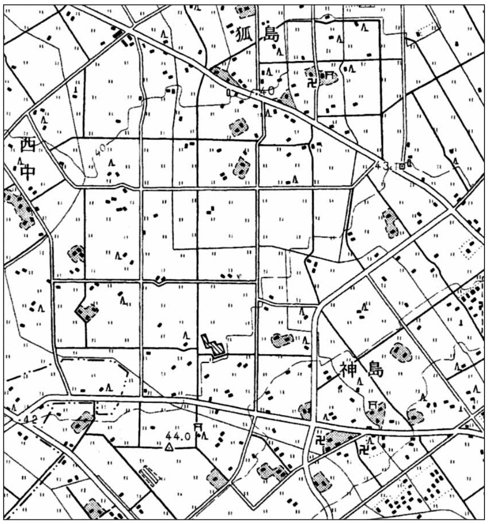
（2015年国勢調査などより作成）

〔問３〕　次のⅠの文章は，1961年に制定された農業基本法に基づいて，富山県砺波（となみ）市で実施された農業構造改善事業の主な取り組みについてまとめたものである。ⅡとⅢの地形図は，1961年と1996年の「国土地理院発行２万５千分の１の地形図（砺波）」の一部である。ⅡとⅢの地形図を比較して読み取れる，道路の変化について，簡単に述べよ。

Ⅰ
○農業経営の規模の拡大，機械化，農業経営の近代化などを図る。
○農村における交通などの環境を整備する。

Ⅱ


（1961年）

Ⅲ


（1996年）

（編集部注：原図を縮小しています。）

4　次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

情報は，様々な物事の内容や様子などを人々に知らせるだけでなく，知識や考え方などに影響を与える。私たちは，情報を収集したり分析したりして，社会の発展に役立ててきた。

(1)古代から中世にかけて，文字や製紙技術などが広まると，情報が書物や絵画などとして記録され，残された。

時代が進み，(2)支配者は統治をより強固なものにするため，様々な地域の情報を得ることを一層重視し，各地の調査を進めた。

産業革命により工業化を進めた欧米諸国がアジアに進出するようになった江戸時代末期以降は，(3)近代国家としての体制を整えることが求められ，外国から得た情報が広く活用された。

20 世紀になると科学技術の進展に伴って，(4)様々な情報をより広い範囲の人々に，迅速に伝達する技術が開発されるようになった。

〔問１〕　(1)古代から中世にかけて，文字や製紙技術などが広まると，情報が書物や絵画などとして記録され，残された。とあるが，次のア～エは，奈良時代から室町時代にかけて著された書物などについて述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア　元(げん)軍を防いだことに対する恩賞などについて，幕府に対する御家人の不満が高まる中で，竹崎季長(たけざきすえなが)の活躍などを表したとされる「蒙古襲来絵詞(もうこしゅうらいえことば)」が制作された。

イ　遣唐使(けんとうし)の派遣が停止され，我が国の風土や暮らしに合った文化が生まれる中で，清少納言(せいしょうなごん)により，宮中での日々などについて記した「枕草子」が著された。

ウ　寝殿造(しんでんづくり)と禅宗(ぜんしゅう)の建築様式を折衷した金閣が建てられるなど，大陸の影響を受けて新たな文化が生まれる中で，足利義満(あしかがよしみつ)に保護された世阿弥(ぜあみ)により，能についてまとめた「風姿花伝(ふうしかでん)」が著された。

エ　律令(りつりょう)国家の仕組みが定められ，中央集権的な体制が形成される中で，天武(てんむ)天皇の子である舎人親王(とねりしんのう)らにより，天皇に関する記述を中心に我が国の歴史をまとめた「日本書紀」が編纂(へんさん)された。

〔問２〕 (2)支配者は統治をより強固なものにするため，様々な地域の情報を得ることを一層重視し，各地の調査を進めた。とあるが，次の文章は，各地の調査を行った人物の日記の一部を分かりやすく示したものである。この日記に書かれた調査について述べているのは，あとのア～エのうちではどれか。

> ○寛政12年８月８日，昼，太陽を測り，昼の後より十間縄を以てクナシリ（国後島），ネモロ（根室）他，ところどころの方位を測る。夜は薄曇。
> ○文化２年８月４日，朝，大曇天。我等，淀小橋より下鳥羽村迄測る。

ア　徳川家斉が将軍のときに，幕府は，外国船の来航に備えて海岸線などの調査を進めさせ，我が国の国土の輪郭を描いた全国的な実測図が作成された。

イ　豊臣秀吉は，統一したものさしや枡を用いて田畑の面積などを調査する太閤検地を行い，全国の田畑の生産力を石高によって示した。

ウ　徳川家康は，江戸を中心とした街道の整備を進め，日本橋からの距離を調査し，東海道や東山道，北陸道の両脇に樹木を植えた塚を一里（約４km）ごとに築き始めた。

エ　武田信玄は，領国内の地理的な状況について調査させるとともに，軍が速やかに移動できるよう，高低差や曲がり角を少なくした軍事用の道路を整備した。

〔問３〕 (3)近代国家としての体制を整えることが求められ，外国から得た情報が広く活用された。とあるが，次のⅠの略年表は，江戸時代から昭和時代にかけて，我が国の発展に貢献した人物に関する主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章は，福沢諭吉によって著された書物について述べたものである。Ⅱの文章で述べている書物が著された時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中のア～エの時期のうちではどれか。

Ⅰ

西暦	我が国の発展に貢献した人物に関する主な出来事	
1853	●アメリカ合衆国で教育を受けた中浜万次郎が，幕府の普請役格の役人として迎えられた。	
		ア
1871	●来日していた外国人宣教師の指導を受けた大隈重信が，外国への使節の派遣を発議した。	
		イ
1900	●アメリカ合衆国に留学した経験をもつ津田梅子が，女子英学塾を開設した。	
		ウ
1924	●ドイツに留学した経験をもつ山田耕筰が，日本交響楽協会を設立した。	
		エ
1935	●湯川秀樹が「素粒子の相互作用について」と題する論文を英文にまとめたものが，「日本数学物理学会報」に掲載された。	

Ⅱ

> ○この書物は，17編からなり，全ての国民に小学校教育を受けさせようとする学制が公布された年に初編が刊行された。
> ○この書物は，「天は人の上に人を造らず」で始まり，一国の独立は個人の独立に基づき，個人の独立のためには学問をすることが大切であると説いた。

〔問４〕 (4)様々な情報をより広い範囲の人々に，迅速に伝達する技術が開発されるようになった。とあるが，次のア～エは，昭和時代から平成にかけて，情報の伝達技術が発達した時代背景と新たな技術開発の様子について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

	情報の伝達技術が発達した時代背景と新たな技術開発の様子
ア	○投機によって株式と土地の価格が上がるバブル経済が発生し，拡大する中で，ベルリンの壁の崩壊などのニュースが，地上波による放送だけではなく衛星放送でも伝えられた。 ○防災情報に関するデータや映像などを表示するマルチスクリーンディスプレイが開発され，新たに西新宿（にししんじゅく）に落成した東京都庁舎に設置された。
イ	○我が国が独立国としての主権を回復し，復興が進む中で，テレビの本放送が始まり，街角に設置された街頭テレビに人々が集まり，大相撲やプロ野球などが視聴された。 ○我が国の企業によって，持ち運びできるトランジスタテレビが世界で初めて開発され，日本橋（にほんばし）で商品発表が行われた。
ウ	○戦争が長期化し，国家総動員法が公布されるなど戦時体制が形成される中で，政府は内閣情報局を設置し，戦況などに関する報道に対して統制を行った。 ○放送技術の開発を専門とする我が国唯一の研究機関として，放送技術研究所が砧（きぬた）に開設され，テレビの実験放送が開始された。
エ	○重化学工業が発展し，技術革新が進む中で，大阪で開催された万国博覧会では，迷子センターでテレビ電話を用いるなど，新たに開発された技術が取り入れられた。 ○駒場（こまば）の東京大学内に設立された宇宙工学などに関する研究機関が，人工衛星の打ち上げを我が国で初めて成功させた。

5　次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

私たちは，様々な集団を形成して生活し，話し合いによって集団生活を送るための決まり（ルール）を定めている。

決まり（ルール）を定める際には，集団の構成員が等しく個人として尊重されることが重要であり，(1)我が国では日本国憲法において，平等権が保障されている。日本国憲法に違反する決まり（ルール）は効力をもたず，(2)国や地方公共団体は日本国憲法に基づいて決まり（ルール）を定めている。また，定められた決まり（ルール）は，(3)社会の変化に応じ，正当な手続きを経て，改正が図られている。

国際社会においても，決まり（ルール）は重要な役割を果たしている。グローバル化が進む現代においては，(4)各国は決まり（ルール）を尊重し，国際協調を推進していくことが求められている。

〔問１〕 (1)我が国では日本国憲法において，平等権が保障されている。とあるが，平等権を保障する日本国憲法の条文は，次のア～エのうちではどれか。

ア　集会，結社及び言論，出版その他一切の表現の自由は，これを保障する。

イ　公務員を選定し，及びこれを罷免することは，国民固有の権利である。

ウ　すべて国民は，勤労の権利を有し，義務を負ふ。

エ　すべて国民は，法の下に平等であつて，人種，信条，性別，社会的身分又は門地により，政治的，経済的又は社会的関係において，差別されない。

〔問２〕 (2)国や地方公共団体は日本国憲法に基づいて決まり（ルール）を定めている。とあるが，次の文章で述べている決まり（ルール）に当てはまるのは，あとのア～エのうちのどれか。

○地方議会の議決により成立する，地方公共団体の決まり（ルール）である。 ○東京都には，10 月 1 日を都民の日にすることを定めたもの，などがある。

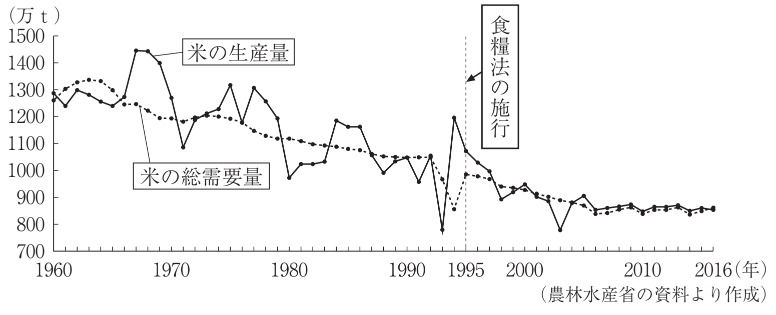
ア　条例　　イ　省令　　ウ　政令　　エ　法律

〔問３〕 (3)社会の変化に応じ，正当な手続きを経て，改正が図られている。とあるが，次のⅠの文は，「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（食糧法）」について述べたものである。次のⅡのグラフは，1960 年から 2016 年までの我が国における米の総需要量と米の生産量の推移を示したものである。1960 年から 1995 年までの期間と，1995 年から 2016 年までの期間を比較して，米の総需要量と米の生産量の関係がどのように変化したか，次のⅡのグラフから読み取れることを簡単に述べよ。

Ⅰ

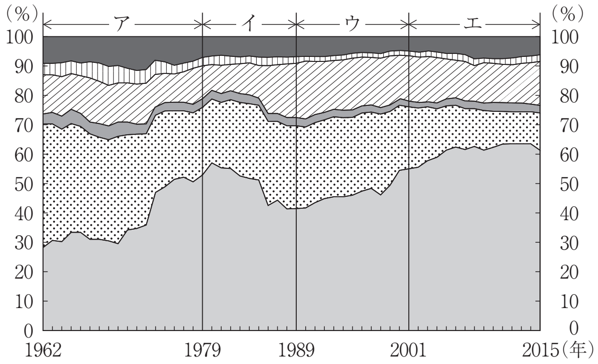
国内外における状況の変化に応じて農業政策を見直す必要性などから，1995 年に食糧管理法が廃止されて，新たに食糧法が施行された。

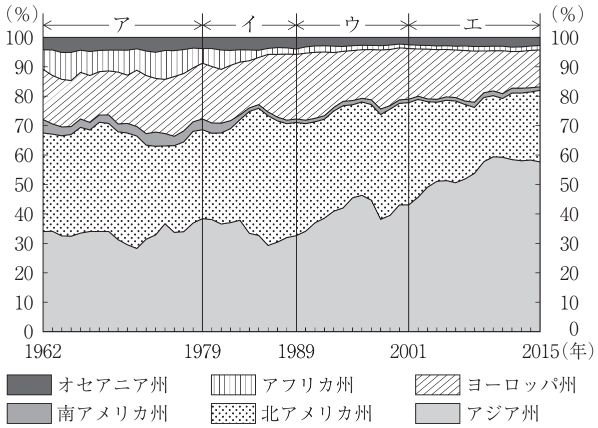
Ⅱ



（農林水産省の資料より作成）

〔問４〕 (4)各国は決まり（ルール）を尊重し，国際協調を推進していくことが求められている。とあるが，Ⅰのグラフは，1962年から2015年までの我が国の地域別輸入額の割合の推移を示したものである。Ⅱのグラフは，1962年から2015年までの我が国の地域別輸出額の割合の推移を示したものである。Ⅲの文章は，ⅠとⅡのグラフのア～エのいずれかの時期における貿易の様子について述べたものである。Ⅲの文章で述べている時期に当てはまるのは，ⅠとⅡのグラフのア～エの時期のうちではどれか。

Ⅰ


Ⅱ


（日本貿易月報などより作成）

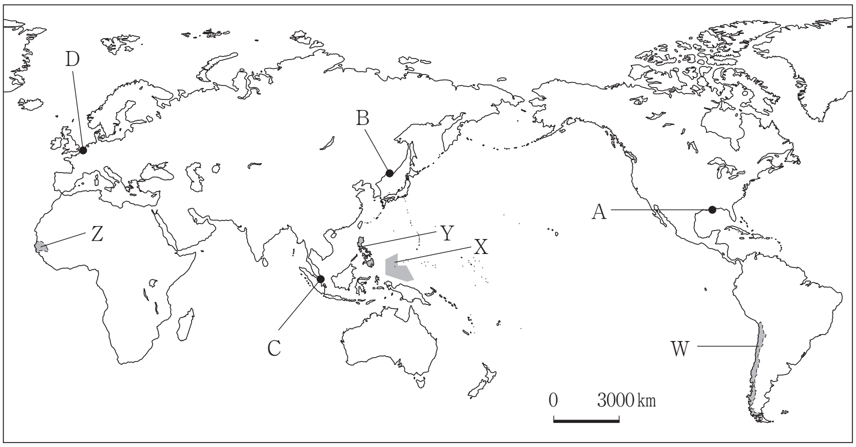
Ⅲ

○関税と貿易に関する一般協定（GATT）に代わって，国際貿易に関するルールを取り扱う国際機関として，世界貿易機関（WTO）が発足し，貿易の自由化を促進した。
○日本経済がアジア経済とより密接なつながりをもつようになり，半導体等電子部品などの輸入が増え，我が国のアジア州からの輸入額の割合は，この時期の始まりでは50%に満たなかったが，この時期の終わりには50%を超えるようになった。
○ヨーロッパ連合（EU）の発足により，地域内の貿易活動が活発化し，我が国のヨーロッパ州からの輸入額及び我が国のヨーロッパ州への輸出額の割合は，この時期の始まりと終わりを比較すると，いずれも減少している。

6 次の文章を読み，下の略地図を見て，あとの各問に答えよ。

国と国との交流は，経済を発展させてきた。(1)特に，交通の発達は，人と物の移動を一層活発にさせ，人々の生活を豊かなものにした。また，顕在化するようになった環境問題に対して，(2)世界の国々が協力して地球環境の保全に取り組んでいる。

世界には環境問題だけではなく，貧困や飢餓など，人々の安全な生活を脅（おびや）かす様々な問題が起きている。こうした問題の解決を図るため，(3)国際連合は世界の人々の生活を向上させるための活動に取り組んでいる。



〔問１〕 (1)特に，交通の発達は，人と物の移動を一層活発にさせ，人々の生活を豊かなものにした。とあるが，次の表のア～エの文章は，略地図中のA～Dのいずれかの都市の交通の様子とその都市が属する国の歴史などについてまとめたものである。A～Dの都市のそれぞれに当てはまるのは，次の表のア～エのうちではどれか。

	都市の交通の様子とその都市が属する国の歴史など
ア	○この都市は，国境付近に位置し，天然の良港となる地形を生かして軍港が建設され，タイガ地帯に敷設（ふせつ）された鉄道で20世紀に首都と結ばれ，物流の拠点となっている。 ○この国は，1917年に革命が起こった後に社会主義国家となったが，計画経済から市場経済に移行し，現在は豊富な鉱産資源を活用して，経済成長を図っている。
イ	○この都市は，国際河川の河口に位置し，水上交通の要衝にあり，大型タンカーが接岸できる埠頭（ふとう）などが整備され，世界有数の貨物量を取り扱う貿易港となっている。 ○この国は，1602年に東インド会社を設立して世界の香辛料貿易を主導し，ポルダーと呼ばれる干拓地を造成して国土を広げ，現在は高い農業生産性と工業技術力を誇っている。
ウ	○この都市は，年間約12万隻の船舶が航行する国際貿易の要衝である海峡に位置し，24時間離着陸が可能な国際空港が建設され，世界各地と結ばれている。 ○この国は，19世紀前半にはイギリスの植民地となり，1965年に独立し，現在は公用語の一つである英語を活用して，政府の主導で外国企業を誘致する政策を推進している。
エ	○この都市は，南流する河川の河口に位置し，港湾都市として発達し，1883年に西部に位置する都市との間に鉄道が敷設され，物流の拠点となっている。 ○この国は，ヨーロッパからの移住者などにより1776年に建国され，東部から西部へ開拓を進めるなどして国土を広げ，現在は政治，経済，文化などの面で国際社会をけん引している。

〔問２〕 (2)世界の国々が協力して地球環境の保全に取り組んでいる。とあるが，次のア～エの文章は，略地図中に ▒ で示したW～Zのいずれかの国の環境保全の取り組みなどについて述べたものである。W～Zの国のそれぞれに当てはまるのは，ア～エのうちではどれか。

ア　夏は南西，冬は北東から吹く季節風（モンスーン）や台風などの影響を受け，人口が１億人を超えるこの国では，首都などの大都市において水質汚染やスラムの形成などの問題が生じ，我が国からの技術協力などを活用し，排水処理施設などの整備を行っている。

イ　公用語はスペイン語で，地中海性気候を利用して栽培されるぶどうや銅鉱が主要な輸出品であるこの国では，生物の多様性に関する条約を締結し，国際的なNGO（非政府組織）の協力を得て判明したペンギンなどの野生動物の繁殖地や採食地の開発を制限する政策を行っている。

ウ　世界最大の砂漠の南側に位置し，輸出用の農作物の生産量を急激に増加させたこの国では，干ばつや砂漠化の問題に対処するため，フランスや近隣諸国などと協力して，植林などを行い，土壌の再生に努めている。

エ 「小さな島々」と呼ばれる地域に位置し，観光業が主力産業で，人口約２万人のこの国では，気候変動などで破壊されたサンゴ礁を保全するため，他国との共同研究や，我が国からの協力でサンゴ礁の管理や住民への啓発活動を行っている。

〔問３〕 (3)国際連合は世界の人々の生活を向上させるための活動に取り組んでいる。とあるが，次のⅠの略年表は，1972年から2015年までの，国際的な問題を解決するための国際連合の主な動きについてまとめたものである。Ⅱの文章は，国際的な問題を解決するための国際連合の取り組みについて述べたものである。Ⅱの文章で示した国際連合の取り組みが行われた時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中のア～エの時期のうちではどれか。

Ⅰ

西暦	国際的な問題を解決するための国際連合の主な動き	時期
1972	●国連人間環境会議が開催され，人間環境の保全と向上に関する「人間環境宣言」が採択された。	
		ア
1984	●国際人口会議が開催され，「世界人口行動計画を継続実施するための勧告」について見直しが行われた。	
		イ
1994	●国連開発計画により，「人間開発報告書」が発表され，「人間の安全保障」という概念が初めて公に取り上げられた。	
		ウ
2006	●国際連合として人権問題への対処能力を強化するため，従来の人権委員会に代わる機関として人権理事会が新たに設置された。	
		エ
2015	●「国連持続可能な開発サミット」が開催され，2030年までに貧困に終止符を打つなどの目標が示された。	

Ⅱ

○国際連合が主催する「国連ミレニアムサミット」が開催され，国際社会が目指すべき目標を示す宣言が採択された。翌年，極度の貧困と飢餓の撲滅や，初等教育の完全普及の達成などからなる，八つのミレニアム開発目標が定められた。

○「持続可能な開発に関する世界首脳会議」がヨハネスバーグ（ヨハネスブルグ）で開催され，貧困撲滅と人類の発展につながる現実的な計画を策定する必要に応じるために，確固たる取り組みを行うとの共通の決意で団結したなどと述べた宣言が採択された。

〈***Note***〉

2018年度　東京都公立高校入試問題

1 〔問1〕エ　〔問2〕イ　〔問3〕イ

2 〔問1〕（Ⅰのア～エ）ア　（略地図中のA～D）D　〔問2〕エ
〔問3〕W.　ウ　X.　ア　Y.　イ　Z.　エ

3 〔問1〕A.　ア　B.　エ　C.　ウ　D.　イ　〔問2〕ウ　〔問3〕この地域は，1961年には曲線状の道路が多く見られたが，1996年には新たに整備された直線状の道路が多く見られるようになった。（同意可）

4 〔問1〕エ→イ→ア→ウ　〔問2〕ア　〔問3〕イ　〔問4〕ウ→イ→エ→ア

5 〔問1〕エ　〔問2〕ア　〔問3〕1960年から1995年までの期間では，米の総需要量と生産量に大きな開きがある年が見られたが，1995年から2016年までの期間では，米の総需要量と生産量の開きが小さくなった。（同意可）〔問4〕ウ

6 〔問1〕A.　エ　B.　ア　C.　ウ　D.　イ　〔問2〕W.　イ　X.　エ　Y.　ア　Z.　ウ
〔問3〕ウ